

山行申し込み、個人山行の届けは**平井**へお願いいたします。

携帯メルアド：tad-hira@ezweb.ne.jp または P C アド：izc00565@nifty.com

いわて生協山の会：2026 年 8 - 9 月の山行計画

山行日	行き先	難易度	参加費	参加×切	備考
8/22(土)	建石山(好い山)	★☆☆☆	1,000 円	8/17	中津川と築川の間の盛岡の山
8/26(水) ~29(土)	槍ヶ岳	★★★★	65,000 円	×切	表銀座コースで槍ヶ岳を目指します。
9/6(日)	焼山	★★☆☆	1,500 円	8/31	八幡平の焼山に久しぶりに登ります。
9/12(土)	岩手山	★★★★	800 円	9/7	2 年ぶりに登山解禁になりました。
9/19(土)	三ツ石山	★★☆☆	1,500 円	9/14	本州で一番早い紅葉を！周回コースで
9/25(金) ~27(日)	唐松岳~五竜岳	★★★★	55,000 円	8/27	八方尾根~唐松岳に登り、五竜岳を経由して遠見尾根を下ります。

参加費は 5 人参加の場合の概算です。人数により変更あります。予めご了承ください。申し込みは平井へ

2026 年度の県外山行の予定

唐松岳から五竜岳周回 9/25(金)~9/27(日)

9/25(金) 牧野林 5:00 発⇒八方 RW14:00~八方池山荘(泊)

9/26(土) 八方池山荘 6:00 発~唐松岳 10:00~五竜山荘 13:30~五竜岳 2814m
~15:00 五竜山荘(泊)

9/27(日) 五竜山荘 6:00~遠見尾根~アルプス平 10:35~エスカルゴプラザ 11:00
⇒八方 P 11:30(タクシーで車回収)⇒牧野林着 20:00

参加費：5.5 万円 ×切り：8/27

蔵王・屏風岳へ 10/3(土)-4(日) 東北・奥羽 B 交流山行(宮城県連主管)

10/3(土) 11:00 牧野林発⇒八ッ沼もみの木山荘 夕食交流会(泊)

10/4(土) 宿 5:30 発⇒刈田峠~屏風岳~登山口<歩行 5 時間>12:30⇒15:00 牧野林着

参加費：2 万円 ×切り：9/20

***10/4(日) 4:30 出発で日帰り参加もできます。**

**次回は 2026/9/1 (水) 18:30~ベルツ青山 2F 会議室にて
10 月の山行計画と納山会の計画などを話合います。**

■7/6(月) 早池峰⇒参加希望が少ないため中止

参加希望 金子・平井

■7/8(水)~410(金) 北岳⇒登山口への林道が落石で通行止めのため中止

参加予定 1/金子・平井・藤倉 3名

■7/19(日)~25(土) 三俣山荘で道直し

参加者 金子・平井・秋元+釜石労山 2名+宮城県連 13名

三俣山荘の道直し(長野・富山県)今年は岩手から 5 名(釜石 2・生協 3)と宮城から 23 名が参加、宮城労山がボラ開始から 4 年目になります。三俣山荘は労山創立者の伊藤正一さんの小屋です。黒部の最深部にあり、登山口から往路・復路とも二日ずつ要します。遠いです。7/19~25 まで行ってきました。19 日は安曇野の YH で前泊、20 日に高瀬ダムより入山。通称裏銀座コースをたどり、野口五郎小屋宿泊・水晶岳など経て、2 日目の 21 日午後に三俣山荘に入りました。22-23 日は黒部源流・伊藤新道・三俣蓮華岳巻道などの下草やハイマツ刈などを行いました。24 日早朝に帰路に着き、遠い道のりを途中、烏帽子小屋に宿泊し、25 日に無事高瀬ダム到着。そのまま高速で 750 km 走り夜無事に盛岡到着でした。今年は高山植物の当たり年で、種類も多く、特に数年置きに咲くと言われているコバイケイソウの大群落が見事でした。梅雨明けのこの時期、天気にも恵まれ、1 週間も弱い雨にも当たらず、下界は猛暑の中、涼しい環境での作業でした。来年は新穂高温泉から双六經由でもう少し短いコースで入山し、ボランティアを継続出来たら良いなと思っています。(金子敏明・70 歳)



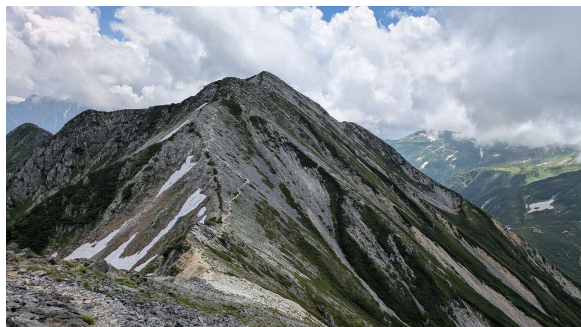
7/19(日)~7/25(土)までの山行は、とてもとても大変でした。7/19(日)は安曇野パストラル YH に 16 時到着の予定が 15 時に着きました。玄関が開いていたので声をかけたけど返事が無い為、中に入って休んでいたら、不法侵入と言われ 16 時まで外で待機。そんな状態からのスタートでした。20(月)七倉で釜石労山の 2 名と合流し、タクシーで高瀬ダムまで行き、そこからトンネルを抜け吊り橋を渡りブナ立尾根登山口からスタートです。番号札 12 から 0 まで烏帽子小屋までの標高差 1200m「フーハーハー」休み休み登りあげました。きょうの宿は野口五郎小屋です。まだまだこの先が有り、膝が完治していない私は不安だらけです。今回の山行は野口五郎岳



を希望したら、水晶岳・鷲羽岳そして「三俣山荘道直し」とおまけが沢山付いていました。以前、双六小屋から見た鷲羽岳に憧れていたもので、実現したものの安易な考えだった事を後悔しました。どの山も気を抜くと怪我につながるような、ゴロゴロした大きな岩を飛び越えたり、真砂で滑りそうになったり、手と足をふるにを使って来ました。その代わりにご褒美はたくさんの方々。私達を待っていたかのようにイワギキョウ・コマクサ・コバイケイソウ・イブキジャコウソウ・ヨツバシオガマ。「ワーきれい」「ワー凄いね」と感嘆をあげながら、とてもいい時期に行けた事そしてお天気に恵まれた事に感謝でした。360 度スケールの違う山々、槍ヶ岳・薬師岳・黒部五郎岳・笠ヶ岳…凄いという言葉しかでてきませんでした。三俣山荘の道直しは、元気のいい宮城の方々と交流が出来て楽しかったです。三俣山荘の若い人達や宮城の人達から気を使って頂き、作業後に祖父(じい)岳や三俣蓮華岳にも登らせて貰いました。道直しは朝 5 時位からだったので、午後からは槍ヶ岳の穂先が見え隠れする様子を見ながら、サイホンでいれて頂いたコーヒーを贅沢に飲みほす。大変だった

事を忘れ、とても優雅で幸せいっぱいになりました。釜石労山の元気な声に励まされながら、無事に一週間過ぎず事が出来た事に感謝です。そしていつもながら長距離運転お疲れ様でした。(秋元)

19(日)~25(土)三俣山荘で登山道整備(宮城県連と合同)に参加しました。岩手県連から5名、宮城県連から13名が参加しました。(宮城県連は私たちが下山してから、更に10名が参加)7/19(日)は安曇野のYHに宿泊。7/20(月)に七倉山荘で釜石労山の2名と合流し、そこからタクシーで高瀬ダムに。ダムの展望台から槍の穂先を確認してから、日本3大急登の「ブナ立尾根」を登りました。烏帽子小屋~野口五郎小屋に宿泊(歩行10時間)。



21(火)は野口五郎岳(2924m)を越えて、水晶小屋~水晶岳(2978m)に登頂し、鷲羽岳(2924m)を越えて三俣山荘に宿泊(歩行8時間)。22(水)と23(木)は登山道の刈り払いを行いました。三俣山荘に3泊しましたが、通常¥15,000の宿泊費がボランティア料金で¥5,000でした。しかも昼食や飲み物、夕食時にはビールなどの提供もありました。24(金)は三俣山荘~水晶小屋~野口五郎小屋~烏帽子小屋に宿泊(歩行10時間)。最終日25(土)

はブナ立尾根を下りました。(歩行4時間)下山後は登山口の七倉山荘で温泉に入り、汗を流しました。麻績ICから高速に乗り、盛岡には18:00に帰りました。(平井)

■8/2(日)~6(木) 八剣山と大雪

参加者 金子・平井・秋元・石倉・栗田・藤倉 6名

8/2(日)牧野林19時に集合し、初めてお会いする栗田さんの運転で八戸FTまで行き、八戸港より22時出港しました。少し揺れるフェリーで昨年の同じ時期に登った羊蹄山・ニセコを思い出しながら、眠りにつきました。8/3(月)6時過ぎには苫小牧港より、車を走らせて八剣山近くの中央コースのPに車を止めました。果樹園・ワイナリー・パークゴルフ場・乗馬クラブ等々観光施設が整った所でした。Pからは、山のとっぺんに突き出たゴツゴツした岩が、のこぎりの刃のように見え、岩好きの私はとても楽しみです。八剣山中央口より8:30出発です。クルマムグラ・カニコウモリ、笹で覆われた道を進むと、所々に「この先は八剣山特有の急峻で狭いところもあり、転落事故も多発…」の注意書きが有りました。その通りで急坂・岩々ロープと、思ったより登山者も多く、すれ違うのが大変でした。6号目を過ぎると岩が大きくなり、ロープ使って気を付けながら登ります。



8号目辺りから広葉樹林を抜けて視界が広がって来ました。山頂(498m)に9:20に着き、全方位の山々と町並み見ながら休憩です。ピストンの予定でしたが、西口の方が楽かもと、足をとられないようにゆっくり下山です。シダが多くうっそうとしているので、早く登山口へと思いながら、Pに10:30頃に着きました。バスで来た団体さんが身支度をして登ろうとしている所でした。「結構大変な山でしたよ」と呟きました。ホ

ステルに行くには少し早いので、あさひかわラーメン村でラーメンを食べた後、旭山動物園に行く事になりました。動物園ではフラミンゴ・ペンギン・ホッキョクグマ…と、ゆっくり1時間半位楽しみました15:30。途中北海道お馴染みのセイコーマートで食料を調達して、大きなホテルが建ち並ぶ一角の hostel にお泊まりです。話の尽きない夕食後に8:30からの花火を見て就寝。たくさんのサプライズの一日に感謝です。

8/4(火) Hostelを5:30に出て、Pに6:30に着きました。準備をして少し歩いた所の登山口6:55出発です。歩いて間もなくウメバチソウ・シロバナイチヤクソウに出迎えられ、山スイッチが入りました。山の花は可愛す

ぎて、少し位大変な道でも気持ちを前に進めてくれます。ウサギギク ウコンウツギ・クワガタソウと…見ているうちに第一花園 7:30。雪渓を登ると、エゾコザクラが咲きほこっていました。奥の平 8:11。色の濃いコマクサが咲いているコマクサ平 8:30。あまりに花が多いので、ゆっくりゆっくり写真を撮りながら歩いていたら、きょうの目的赤岳に着きそうに有りません。左側に見える岩がゴツゴツした所を目指し、少し急ぎ足で急坂と岩を飛び越えるように頑張っていたら、ヒョッコリ赤岳の標柱が見え驚きました。9:52。目的にしていた山を間違えてしまったようで、得した気分でした。山頂(2078m)は広く青空に映える山々を眺め、きょうもいい日だと実感しました。次の目的地は白雲岳です。イワツメクサを見ながら、白雲岳分岐 10:40。とにかく広くて気持ちがいい♪ 白雲岳山頂(2229m)に 11:20 着。目に飛び込んで来たのは、旭岳の裏側方面に見られる緑の山肌と残雪



が織り成すゼブラ模様。凄～いの言葉しか出ません。もう一度この時期に来てみたいと思いながら下山です。コマクサ平 2:14。奥の平 2:30。雪渓では雪でトトロを作っていたので、写真を撮らせて頂きました。登山口 15:24 ほぼコースタイム通りでした。白雲岳の雪渓でヒグマが目

撃され、登れない日も有ったようですが、私達はヒグマにも会わず、こんな素敵ない日を過ごす事が出来てラッキーでした。明日の旭岳ロープウェイを確認して、ケイズハウスでお疲れ様カンパイ。好天に恵まれ、これ以上ない最高の花の時期の計画有り難うございました。栗田さん長距離運転、大変お疲れ様でした。今回も楽しい山行でした。有り難うございました。(秋元)

8/5(水) 快晴☀朝食を済ませ、ケイズハウス出発 5:30、旭岳ロープウェイ乗り場着 5:35、始発 600 と思ったら 6:30 で一番乗、姿見駅着 6:08 元気に登山開始 6:45。姿見の池には旭岳が写って逆さ旭岳、本当に鏡のようで感動して弾んだ気持ちでスタートです。頂上までの登りはほとんど岩場で、左手の地獄谷の複数の噴気口からは勢いよく水蒸気が上がって、青空に映えて活火山の魅力も最高でした。8合目(2065m)「岩手山の頂上



越えたね～」と励まし合いながら更に岩場を登り、9:18 旭岳(2290m)山頂到着。雲1つない青空と 360°素晴らしい景色で記念撮影。みんな大満足でサイコウ、最高の連発でした。旭岳からの下りはガレ場と雪渓から始まり、足の置き方や歩き方を指導して頂き、無事に難関突破??その後は、景色もうってかわって、なんとお花畑の連続。イワギキョウ、イワブクロ、バイケイソウ、エゾツガザクラ、チングルマ、マルバシモツ

ケ、エゾオヤマノリンドウ、ミヤマアキノキリンソウ、ワタスゲ、等々本当に一面お花畑に感動しながらスゴイ、凄いの連発でした。後ろから「コースタイム1時間遅れてるよ～」と声がかかり、「ハーイ!!頑張るま～す!!」とギアを上げ、遅れを取り戻し無事に 14:15 姿見駅着で、14:30 発ロープウェイに乗り、15:00 山麓駅を出発～18:40 苦小牧着、21:15 発のシルバープリンセス(船)で 4:40 八戸着、4:45 高速東北道、6:00 滝沢スマートインター着、6:05 無事牧野林駐車場到着。最高の天気☀に恵まれ、ヒグマにも会わず、本当に楽しい充実した山旅でした。久しぶりの登山でしたが、参加出来て本当に良かったです。感動、感謝の連続、本当に良かったです。ありがとうございました。(石倉)

